

# シーズの製品化状況

## 振興会議にシーズを提出後に製品化した事例10件

NO	大学	ギャップ資金		研究開発の名称	製品内容	研究者	所属	設立済 関連企業
		提供年度	金額(万円)					
1	九州大学	H29	100	無線データ伝送、接触圧・温度センサー一体型マイクロ血流量センサ	血流が全身に酸素、栄養、熱、身体の生理的な状態や自律神経とも関係した情報を運ぶことから、血流量の測定は非常に重要です。しかし、血流量は接触圧の影響を大きく受けるので、接触圧を考慮した血流量の測定が再現性良い血流量測定には不可欠です。小型だけでなく、①高い再現性の測定、②体動に強い脈波センサとしての使用も可能、③脈波を顕著にするなどの種々のパラメータ設定が可能、④血流量に大きく影響する接触圧と温度も同時測定、⑤ 血流量センサ・接触圧センサ・モニタリングセンサの光学系のサイズがすべて合わせて、2.5mmx3.9mmx1.35mmと非常に小さい、⑥ブルーーツースによるデータ伝送、⑦低コスト・低価格、を実現。	澤田 廉士 (元：教授) (現：名誉教授)	元工学研究院	Palmens株式会社
2		H30	100	直感的インターフェースを用いた歯科インプラント手術ナビゲーション開発	歯科インプラント治療は、咀嚼機能の改善による健康維持などに高い有効性があり、患者のQOLを向上させる治療として広く認知され、患者数は増加の一途を辿っているが、一方で手術によるトラブルも増加している。このため、安心安全な手術を行うための歯科インプラント手術ナビゲーションシステムの開発を、九州・大学発ベンチャー振興会議のギャップ資金を用いて行った。	大内田 理一 (診療講師)	歯学部	Safe Approach Medical (株)
3	九州工業大学	H30	100	介護系行動認識システム及び行動認識技術の汎用化プラットフォームの開発	介護自動記録AIアプリ「FonLog(フォンログ)」 国立大学法人九州工業大学で開発された介護自動記録AIアプリFonLogは、スマートフォンなどのIoTセンサと、機械学習を用いたAI行動認識技術を用いて、これまで大きな時間を割いていた介護業務記録時間を大幅に自動化することができ、業務の大幅な効率化を可能にするスマホアプリ。	井上 創造 (教授)	生命体工学研究科 人間知能システム工学専攻	(合) AUTOCARE
4	佐賀大学	R2	100	コロナ後の「新しい生活様式」を支援するオンラインマップ：ロケモシェア	令和2年度にご支援いただいたロケモシェアのスタンブラリー機能が、令和2年度末には佐賀県吉野ヶ里町の「ROUTE385 smartスタンブラリー」に、令和3年には「佐賀広域圏内(佐賀市・多久市・小城市・神埼市・吉野ヶ里町)の観光施設等を訪問してポイントを貯める「まんなか佐賀ぐるっとスタンブラリー」に採用されました。令和4年度現在は、嬉野温泉駅再開発事業と連携した観光支援や、多久市商工観光課と連携、小城市の健康増進課と連携したウォーキングイベントなどに取り組んでいます。	中山 功一 (准教授)	理工学部	
5	大分大学	H29	100	竹を原料とする竹綿とセルロースナノファイバーを製造する「大分大学プロセス」	竹の素材化技術の社会実装を目的に2021年9月28日に株式会社おおいたCELEENAを起業した(大分県大分市)。同社では、竹セルロースとセルロースナノファイバーを製品化している。化粧品、脱ブラ、塗料関連の企業や商社から引き合いがあり、CNF成形体の生分解性ガスバリア膜としての検討や宇宙素材としての検討も進めている。	衣本 太郎 (准教授)	理工学部	株おおいたCELEENA
6		R3	100	分光法を用いた食品等の簡易検査装置の製造と解析手法	光技術を用い、画像・吸収・蛍光・ラマン光などの色情報、波長や強度から、サンプルの状態を解析する。サンプルを採取することなく、そのままの状態でも測定できる装置である。得られたデータは、遠隔のサーバに転送し、画像解析およびAI解析を行い、「しょうが」などの食品の育成状態、劣化状態、美味しさの度合などを表示する。	井上 高教 (教授)	理工学部	

# シーズの製品化状況

	大学	ギャップ資金		研究開発の名称	製品内容	研究者	所属	設立済 関連企業
		提供年度	金額(万円)					
7	宮崎大学	H30	100	宮崎県沿岸域における循環型サクラマス養殖生産事業の定着化	R03.12 選抜育種により生産した桜鱒の種苗を県外養殖業者に販売を開始 R04. 1. 海面養殖サクラマス「本桜鱒」としてブランド化 R04. 1.くろ崎監修”桜鱒の桜葉締め”発売 R04. 3. 本桜鱒とドライマトのチーズグラタン販売 R04.11 本桜鱒の種苗を国内4か所に販売を予定	内田 勝久 (教授)	農学部	株Smolt
8		R3	100	腰痛予防デジタルヘルスアプリ	胸ポケットに入れたスマートフォンを用い、腰部負担(椎間板にかかる圧力)をリアルタイムに数値化する技術を用いたアプリを開発。体験版(無償)を令和4年8月にリリース。	田村 宏樹 (教授)	工学部	
9	鹿児島大学	R1	50	多様な花色・花形を産み出す「新花色トルコギ キョウF1切り花」生産技術	令和3年12月鹿児島大学ブランド「奥玉洋(オーイヨウ)」の商標登録を行った(第6490744号)。①鹿児島県の農業団体(A社)と事業化を開始、2021年度には補助事業に採択され事業を継続中。②民間企業B社と小規模事業を開始。③タイ国での事業化はコロナの影響からTISTRとの事業化は断念した。	橋本 文雄 (教授)	農学部	
10	琉球大学	R3	50	探究自由研究キット(小学生向け)	Mirame.Labが監修した夏休みの探究自由キットを2022年8月のみ限定で販売した。	島田幸治郎 (助教)	理学部	堀井工業 miraimelab